

1 単元名 鉄筋コンクリート構造

2 小単元名 壁式構造

3 本時の目標

ラーメン構造と壁式構造の違いに着目し、課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善する。

4 学習の展開

	学習活動（●個人、○グループ）	授業者から学習者への働きかけや支援	評価規準・評価方法
導入 (5分)	●本時の学習内容と目標を確認する。 ●ラーメン構造の復習を行う。	・ラーメン構造と本時の学習との関連を意識させる。 ・前時のGoogleスライドを使用。	[評価規準] 【思考・判断・表現】 ラーメン構造と壁式構造の違いに着目し、課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し、改善している。
説明 (5分)	●Googleスライド（注1）を見ながら、壁式構造の概要をGoogleドキュメントに入力する。	（注1）自作した説明用スライド ・行動観察【方法1】やWi-Fi環境の確認等を目的として机間巡視を実施。	[評価方法] 【方法1】 行動観察 【方法2】 ワークシート (Googleドキュメント)
協議 (35分)	○任意のグループに分かれ、壁式構造に関する次の2つの協議題について協議しながら、各自で自身の考えをワークシート【方法2】に入力する。 ◆協議題1 ラーメン構造との相違点や、倉庫や工場などの建築物に適さない理由 ◆協議題2 壁式構造の存続の可能性 ※それぞれの協議後に次の活動を行う。 ○各自で入力した内容をもとにグループとしての結論を導く。 ○1つのグループがワークシートを画面共有し、グループとしての結論を発表*する。 (発表するグループは、協議の様子を見て決定) ○上記*で発表された結論と異なるグループ（注2）のうち、数グループは発表を行う。	・少数意見も尊重させる。 ・議論が停滞しているときは、議論の活性化につながるヒントを与える。 【想定するヒント】 ◆協議題1 ①倉庫や工場はどんな空間が求められているのか ②荷重を支える部材がラーメン構造とは異なること ◆協議題2 壁式構造に代わる構造形式や、技術の進歩はないのか ・まとめの時間（5分）の確保に留意し、発表グループ数を設定する。 ・他者を尊重し、異なる考え方を組み合わせたり、新たな考えを創造したりすることに生かす視点で意見を聞くように促す。 （注2）【想定:異なるグループ不在】 「こんな考えもあると思うが、どう思う？」とクラス全体への問いかけ 【協議題別のゴールイメージ】 ◆協議題1 壁で構造物を支えており、広い空間を作りにくいことの共通認識 ◆協議題2 多様な考え方があることに加え、その理由を把握	
まとめ (5分)	・本時の学習を振り返り、自己の考えをSlidosに入力する。	・Slidosの入力に当たっては、他者の意見も踏まえ、他の教科・科目等との関連性や自己の将来を含めて、自身の考えを記入させる。	